

港区区政会議 福祉部会

【平成30年度の振り返り
と令和元年度の取組み】

福祉・保健・子育て支援 5つの戦略

福祉・保健

- 地域福祉の推進
- 地域包括ケアシステムの構築
- セーフティネットの充実
- 健康寿命の延伸

子育て支援

- 子育て世代の応援

戦略その1 地域福祉の推進

【めざす状態】

行政と、地域団体や保健・医療・福祉関係者などとの協働により、高齢者、障がい者も含め誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境が整備されている

【令和元年度の目標（アウトカム）】

「地域福祉活動が活発に行われている」と答えた区民の割合を
平成28年度現況値の3ポイント増にする

〈状況〉 28年度 36.1% ⇒ 30年度 35.8%

戦略その1 地域福祉の推進

具体的取組

- ①地域福祉アクションプランの推進支援 目標達成
- ②高齢者等要支援者の見守り支援 目標達成
- ③認知症支援ネットワークの充実 目標達成

戦略その1 地域福祉の推進 具体的取組

①地域福祉活動計画の推進支援

- ・各地域で策定された地域福祉活動計画を広報みなとの特集号(7月号)で紹介
- ・活動の担い手発掘・育成 ⇒ 活動の担い手同士の連携強化のための講演会 1回 9/13(金)開催予定

[平成30年度の目標]

全11校下で新しい地域福祉活動計画を策定する⇒全11校下で策定済

[令和元年度の目標]

身近な地域福祉活動について「知っている」と答えた区民の割合:70%以上

講演会チラシ

[illegible]

ん み な と

講演会

つなかり合える地域 **港**

～ひとりぽっちをつくらない～

平成**30**年**9**月**21**日(金)

19:00～20:30 ゆめホーム「ゆめ」かなえる
(18:30 開場) 港区民センター 大ホール

所在地：大阪市港区弁天2-1-5

地域にはいろんな方がさまざまな事情を抱えて生えています。何も問題がなさそうにみえても、貧困などを含めた複雑な課題を抱えていることも・・・深刻な状況になる前に誰かに「気づく」ことが大切です。港区では「ふれあい喫茶」や「こども食堂」などさまざまな地域活動を通して、そこに住む人々・商店・施設・支援機関が「つながり」「支え合い」どんな人でも「孤立させない」温かい地域づくりをめざしています。

入 場
無 料

港区在任・在勤の方、内容に関心のある方

先着**300**名 事前申し込み

【8月6日(月)より電話かFAXにて受付】

手話通訳あり

※講演を台座等で中止する場合は、港区社会福祉協議会のHPに掲載しますのでご確認ください。

講師 湯浅 誠 氏

社会活動家／法政大学教授

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。
1995年よりホームレス支援、生活困窮者支援に携わる。
2009年から足掛け3年都内訪問参加に就任。
現在、法政大学現代福祉学部教授、ラジオコメンテーター朝日
新聞パブリックエディター、日本弁護士連合会市民会議委員。
講演内容は貧困問題にとどまらず、地域活性化や男女共同参画、
人権問題などに渡る。



～申し込み・お問い合わせ～ (受付時間 平日 9:00～19:00 土曜 9:00～17:30)

大阪市港区社会福祉協議会 大阪市港区弁天2-1-5-1

[TEL] 06-6575-1212・06-6575-1214

[FAX] 06-6575-1025

[ホームページ] <http://www.minatoku-shakyo.com>

主催 みなと家・港区社協 共同体（港区くらしのサポートコーナー）
港区社会福祉協議会（見守り相談室）、港区役所

戦略その1 地域福祉の推進 具体的取組

② 高齢者等要支援者の見守り支援

- ・地域見守りコーディネーターの配置 (全11校下)
高齢者等の相談や見守り支援、マッチング等
- ・要援護者の情報をネットワーク委員、民生委員に提供
- ・新たな見守り協力事業者の登録及び人材育成
＊見守り協力事業新規登録6件 (累計208件)

【平成30年度の目標】

要援護者からの相談延べ件数：3,900件⇒ 実績4771件

【令和元年度の目標】

要援護者からの相談延べ件数：4,400件

相談窓口の紹介



戦略その1 地域福祉の推進 具体的取組

③認知症支援ネットワークの充実

- ・早期診断、早期対応の仕組みづくり
連絡会6回、認知症学ぼう会6回、地域代表者級会議2回
- ・講演会や研修会などの啓発活動
講演会1回 10/19 (土) 14時～16時開催予定

[平成30年度の目標]

地域包括支援センター運営協議会のメンバーへのアンケートで「認知症支援のための関係機関の連携が進み、早期発見、早期診断の仕組みが機能している」と答えた人の割合:80%以上

⇒ 実績86.2%

[令和元年度の目標]

変更なし

みなとオレンジチームチラシ

大阪市の委託を受けた 認知症初期集中支援事業

認知症かな？ みなとオレンジチーム

ご本人やご家族のお手伝いをいたします。

ご相談ください

味付けが変わった
ように思うけど...

財布がない！
誰かに盗られ
たかな？

急に怒りっぽくなっ
てきた気がするわ...

なかなか病院に
行ってくれないの...

同じ物を何回も
買ってくるの...

同じ事何回も言っ
てはるわ...

このようなことで困っているけど、誰に
相談すれば良いか分からない方はお
気軽にご相談ください。

相談無料・秘密厳守 **みなとオレンジチーム**

☎ 06-6536-8198

受付時間 月～土(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:30
大阪市港区池島1-1-18 港区南部地域包括支援センター内
(地下鉄朝潮橋駅南側歩道橋より徒歩1分)

講演会チラシ

みんなで考えてみよう

知っておきたい認知症のキホン

高齢化にともない認知症の高
齢者も増えており、85歳以
上の高齢者の4人に1人が認
知症といわれています。

認知症治療の第一人者、山本
先生の講演を通して、認知症
について学び、認知症の方と
のつき合い方について一緒に
考えてみませんか？
ぜひご参加ください。

入場
無料
(申込不要)

第1部
講演会

「困った！どうする？
認知症の方とのつき合い方」

講師：桜川ちのむすけクリニック 山本 大介 先生

第2部
Q&A

山本先生がお答え！
認知症のあれこれQ&A

定員200名



プロフィール
H20年 広島大学医学部卒業
H25年 大阪大学大学院（医学博士）学位取得
H26年 桜川ちのむすけクリニック 開設
H26年 通所リハビリテーションすまいるケア桜川 開設
H27年 訪問看護ステーション春風堂を開設
H28年 認可小規模保育所あはれ保育園 開設
H30年 認可小規模保育所あはれ保育園可也野園 開設

●H25年大阪市浪速区で桜川ちのむすけクリニッ
クを開設する。
●精神科外来だけでなく、精神科訪問診療に力を
入れている。
●日常生活に暮らさなければならないと考えから、保
育園の経営に力を入れており、高齢者とのふれあ
いを積極的に進めている。

日時 平成 10月25日 木
30年 午後2時～4時(開場午後1時30分～)

場所 ゆめホーム「ゆめ」かなえる
港区民センター ホール (港区弁天2-1-5)

事務局 港区医師会 TEL:06-6572-3335
問い合わせ

主催 港区医師会
共催 港区歯科医師会、港区地域包括支援センター、港区南部地域包括支援センター、港南地域総合相談窓口、
市岡東地域総合相談窓口、泉南地域総合相談窓口、港区保健福祉センター



戦略その2 地域包括ケアシステムの構築

【めざす状態】

誰もが可能な限り住み慣れた地域で安心して生活を継続することができるよう包括的な支援・サービスの提供体制を構築し、必要な福祉サービスや医療を受けることができる状況になっている。

【令和元年度の目標（アウトカム）】

「在宅での緩和ケア、看取りは可能であると思う」と答えた区民の割合を55%以上にする

〈状況〉 ㉔48.8% ⇒ ㉕21.9% ⇒ ㉖25.3% ⇒ ㉗ 29.1%

戦略その2 地域包括ケアシステムの構築

具体的取組

①在宅医療・介護連携の推進

目標達成

戦略その2 地域包括ケアシステムの構築 具体的取組

①在宅医療・介護連携の推進

・包括的かつ継続的な在宅医療・介護サービスを提供できる体制づくり

○推進会議 3回

○専門職向け研修会 1回

○一般向け講演会 1回

○専門職による自主勉強会

【平成30年度の目標】

在宅医療・介護連携に関する専門職向け研修受講者に対するアンケートで「港区では在宅医療・介護連携の取組みに対する満足度で、満足」と回答した人の割合：70%以上⇒実績76%

【令和元年度の目標】

居宅介護支援事業者連絡会に加入している事業所所属のケアマネジャーのうち、介護職から医療職への「情報伝達シート」を使ったことがあると答えた人の割合：50%以上

戦略その3 セーフティネットの充実

【めざす状態】

高齢者や障がい者、支援を必要とする子どもにとって、関係機関や地域で活動する団体・グループが連携することで、身近に相談がしやすく安心して生活できる環境が整備されている。

【令和元年度の目標（アウトカム）】

「保健福祉や介護に関する相談の場が身近にある」と答えた区民の割合を60%以上にする。

〈状況〉 ㉔44.1% ⇒ ㉕45.0% ⇒ ㉖40.5% ⇒ ㉗ 38.4%

戦略その3

セーフティネットの充実

具体的取組

- | | |
|---------------------|------|
| ①高齡者等要支援者の見守り支援【再掲】 | |
| ②乳幼児発達相談事業の強化 | 目標達成 |
| ③発達障がい児の養育者支援 | 目標達成 |
| ④児童虐待の防止・DV被害者の支援 | 目標達成 |
| ⑤障がい者・高齡者虐待の防止の取組み | 目標達成 |
| ⑥生活困窮者対応の充実 | 目標達成 |
| ⑦こども貧困対策の推進 | 目標達成 |

戦略その3 セーフティネットの充実

②乳幼児発達相談事業の強化

- ・ 発達障がいに関する相談の受付 ⇒ 389件
- ・ 心理相談員による、乳幼児健診や発達相談等における相談など
⇒ 1歳6か月児健診 22件 3歳児健診 38件
 発達相談 9件 4・5歳児発達相談 11件

【平成30年度の目標】

「相談できる場を利用したことで不安が軽減された」と答えた養育者の割合：
70%以上⇒ 実績91.6%

【令和元年度の目標】

変更なし

戦略その3 セーフティネットの充実

③発達障がい児の養育者支援

- ・養育者による実体験に基づく助言、相談対応
- ・養育者同士が交流する場の提供
 - ピアカウンセリング 7回(1回につき2組)
 - 講演会 1回
 - ピアカウンセリングを受けた人の交流の場の提供

【平成30年度の目標】

「相談できる場を利用したことで、不安が軽減された」と答えた養育者の割合:70%以上 ⇒ 実績100%

【令和元年度の目標】

変更なし

戦略その3 セーフティネットの充実

④児童虐待の防止・DV被害者の支援

- ・関係機関と連携した児童虐待ケースの的確な対応と支援
- ・「子育て支援室」へ繋がりやすい体制の構築

要保護児童対策地域協議会 実務者会議 14回

子育て支援連絡会 12回

虐待防止や子育て支援に関する講演会 ⇒ 虐待防止講演会 1回

【平成30年度の目標】

子育て支援連絡会のメンバーに対するアンケートで「子育て支援室」が児童虐待の早期発見・防止のために相談と連携の機能を果たしていると答えた人の割合：80%以上 ⇒ 実績93%

【令和元年度の目標】

変更なし

戦略その3 セーフティネットの充実

⑤障がい者・高齢者虐待の防止の取組み

- ・関係機関と連携した発生防止や早期発見、迅速・適切な対応
サービス利用調整会議 随時
障がい者・高齢者虐待防止連絡会議 1回
- ・地域団体や関係機関を対象とした講演会 1回

【平成30年度の目標】

連絡会議のメンバーに対するアンケートで「関係機関との連携により、虐待事案の早期発見、迅速・適切な対応が行われている」と答えた人の割合：80%以上 ⇒ 実績80%

【令和元年度の目標】

変更なし

障がい者・高齢者権利擁護講演会

気づいてください。
身近な

障がい者・高齢者虐待

障がい者・高齢者権利擁護講演会

あなたの気づきが虐待の早期発見につながります！一人ひとりができることを一緒に考えましょう。

日時

平成 31 年

1 月 25 日 (金)

午後 2 時～3 時 30 分 (開場：午後 1 時 30 分)

場所

ゆめホーム「ゆめ」かなえる

港区民センター ホール

(港区弁天2-1-5)

講師

大阪府立大学 地域保健学域 准教授

みた ゆうこ

三田 優子氏



<講師プロフィール>

東京大学大学院医学系研究科博士課程中退後、愛知県心身障害者コロニー発達障害
研究所研究員、花園大学社会福祉学部助教授を経て現職。
専門は精神保健、障がい者福祉。大学院生時代には精神障がい者のグループホーム
スタッフも務める。社会活動として大阪市社会福祉協議会委員、堺市障害者施策
推進協議会委員、茨木市障害者自立支援協議会会長などがある。

定員

先着 200 名 (参加無料・要申込)

※手話通訳あり

申込先

平成 31 年 1 月 18 日 (金) までに

港区地域包括支援センター ☎06 (6575) 1212 または

港区南部地域包括支援センター ☎06 (6536) 8162 または
(平日：9:00～19:00 土曜日：9:00～17:30)

港区障がい者基幹相談支援センター ☎06 (6585) 2211

(平日：9:00～17:30) まで

問合せ

港区役所 保健福祉課 ☎06 (6576) 9857

(平日：9:00～17:30)

主催

港区役所 保健福祉課

共催

港区地域包括支援センター・港区南部地域包括支援センター
港区障がい者地域自立支援協議会
港区民生委員児童委員協議会

新たな視点へ



- ・ 障害は特別なものではない
- ・ 高齢者には誰もがなるもの
- ・ 障害があっても、高齢者でもいろいろなことに
チャレンジできるし、そのために変わるべきなの
は、社会環境の方である
- ・ 病気や障害だけで生きている人はいない
- ・ 障害者・高齢者は一方的に支援を受けるばかり
の存在ではない
- ・ 誰にとっても「楽しい」「リラックスできる」暮らし
は大切なはず
- ・ 生きづらさをもった人が暮らしやすい町は「強
さ」をもっている

戦略その3 セーフティネットの充実

⑥生活困窮者対応の充実

- ・支援プラン策定にかかる支援調整会議への外部関係機関の参加
- ・「くらしのサポートコーナー」による事例報告や参加者が相互に意見交換できる場の設定

＊ 新規相談受付 328件 支援プラン策定数 81件

【平成30年度の目標】

外部関係機関の参加によるプラン策定の割合：30%以上 ⇒実績50.6%

関係機関等との事例報告・意見交換会の実施 ⇒実績2回

【令和元年度の目標】

変更なし

くらしの悩みを話してみませんか？

悩めるあなたに寄り添います

港区 くらしのサポートコーナー



ひとりでかかえこまずに、まずはご相談ください。相談は**無料**です。

(ご家族など、まわりの方からのご相談でも受け付けいたします。)

相談 **ダイヤル**

06-6576-9897



相談日 月～金曜 午前9時～午後5時30分(土日祝・年末年始は除く)

場 所 港区役所2階 くらしのサポートコーナー

くらしのサポートコーナーとは？

生活に困っている方が、自立した生活を送れるように支援するための相談を受け付けています。生活に困っている港区民の方であれば、どなたでも相談できます。

戦略その3 セーフティネットの充実

⑦こども貧困対策の推進 (平成30年度新規)

- すべての児童生徒を対象にスクリーニングシートを作成し、学校での気づきを「見える化」して支援につなぐ。
- 新たに配置されるこどもサポート推進員やスクールソーシャルワーカー (新SSW) 等が教職員とともに課題を抱えるこどもを発見し、新SSWが中心となってアセスメントを実施して、課題のある児童生徒の共有化を図る。
- 教育分野・福祉分野から支援の見立てを行い、学校と区役所と地域が連携してこどもと世帯が抱える課題に対し、総合的な支援を効果的に実施する。

【平成30年度の目標】

こどもサポート推進員や新SSW等の配置が、教育分野と関係機関等による福祉分野の支援等につながったケースが、小中学校全校で80件以上とする。

⇒ 実績92件

【令和元年度の目標】

変更なし

戦略その4 健康寿命の延伸

【めざす状態】

自らの健康を保つために、食事の改善や適度な運動などの健康的な生活習慣を持つ区民を増やす。

【令和元年度の目標（アウトカム）】

- ・「週2日程度以上運動を行っている」と答えた区民の割合を75%以上にする
(参考:27年度:42.0%)

〈状況〉 ②⑦42.0% ⇒ ②⑧39.8% ⇒ ②⑨41.5% ⇒ ③⑩49.2%

戦略その4 健康寿命の延伸

【令和元年度の目標（アウトカム）】 続き

・がん検診の受診率を

胃がん 6.0% (4.1%) 大腸がん 10.9% (9.5%)

肺がん 7.0% (5.3%) 子宮頸がん 20.8% (17.2%)

乳がん 14.1% (13.6%) にする * () は27年度

・特定健康診査の受診率を20.9%以上にする

(参考:平成27年度 18.7%)

戦略その4 健康寿命の延伸

具体的取組

①区民の健康増進

目標未達成

②がん検診・特定健康診査の受診率の向上

目標未達成

戦略その4 健康寿命の延伸

①区民の健康増進

- ・「港区健康月間」(11月)の取組み
区内企業、各種団体や関係機関によるメニュー提供
健康フェスタ ＊参加・協力団体数:30団体
- ・地域での運動・健康づくりの知識の普及、啓発
「いきいき百歳体操」の支援 ⇒ 25ヶ所



【平成30年度の目標】健康月間中に健康づくり支援の取組に参加した区民の人数が、平成28年度参加数(2,091人)の20%増⇒ **実績41.8%減(1,216人)**

【令和元年度の目標】区民モニターアンケートにおいて、「健康づくりに取り組んでいる」と答えた区民の割合：50%

戦略その4 健康寿命の延伸

②がん検診・特定健康診査の受診率の向上

- ・周知ポスター・チラシの各医療機関での掲示並びに啓発依頼
- ・港区保健福祉センターでの検診

がん検診 21回(休日:10回、夜間:2回),特定健診 8回

- ・広報「みなと」への掲載や区広報板のポスターによる 周知啓発
- ・区役所窓口での受診勧奨や1階行政モニターでの周知啓発

【平成30年度の目標】

保健福祉センターで実施する全がん検診の充足率(受診者数/定員):
80%以上 ⇒ **実績57.2%**

1月末現在の特定健診受診率前年同時期の0.3%増 ⇒ **実績0.4%増**

【令和元年度の目標】

保健福祉センターで実施する肺がん・乳がん検診を併せた充足率(受診者数/定員):80%以上

1月末現在の特定健診受診率前年同時期(17.5%)の0.3%増



特定健康診査で病気の予防や早期治療を!

特定健康診査は、病気の予防や早期治療をすすめるためのものです。早期の治療で医療費の節約にもなります。
健康に自信のある方もぜひ受けてください!

最近お腹まわりが気になる... 内臓脂肪が気になる...

特定健康診査でメタボ チェックができますよ! ※メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪が肥満で高血圧・高血糖・脂質異常・心臓病・脳卒中のおそれがある状態のこと。

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪が肥満で高血圧・高血糖・脂質異常・心臓病・脳卒中のおそれがある状態のこと。

特定健康診査の内容・実施日

【基本的な健診】問診・身体計測・血圧測定・診察・尿検査・血液検査
【詳細な健診】貧血検査・心電図検査・眼底検査 肝臓・胆臓の健診が必要では医師が判断します。(初年度の健診結果が必要です)

場所...一般救済医療機関および港区保健福祉センター(港区役所2F)

対象...大坂市国民健康保険加入者(40歳から74歳)※当該年度40歳になる方を指す)または後期高齢者医療制度加入者(75歳以上)

受診...受診券(4月下旬送付予定)と保険証、特定健康診査人票を必ず持って、指定の医療機関(要予約)や港区保健福祉センター(港区役所2階)で特定健康診査を受診してください。

※前年度の特定健康診査の結果をお持ちの方は、健診当日ご持参ください。

※他の健康保険加入の方はそれぞれの健康保険組合にお問い合わせください。

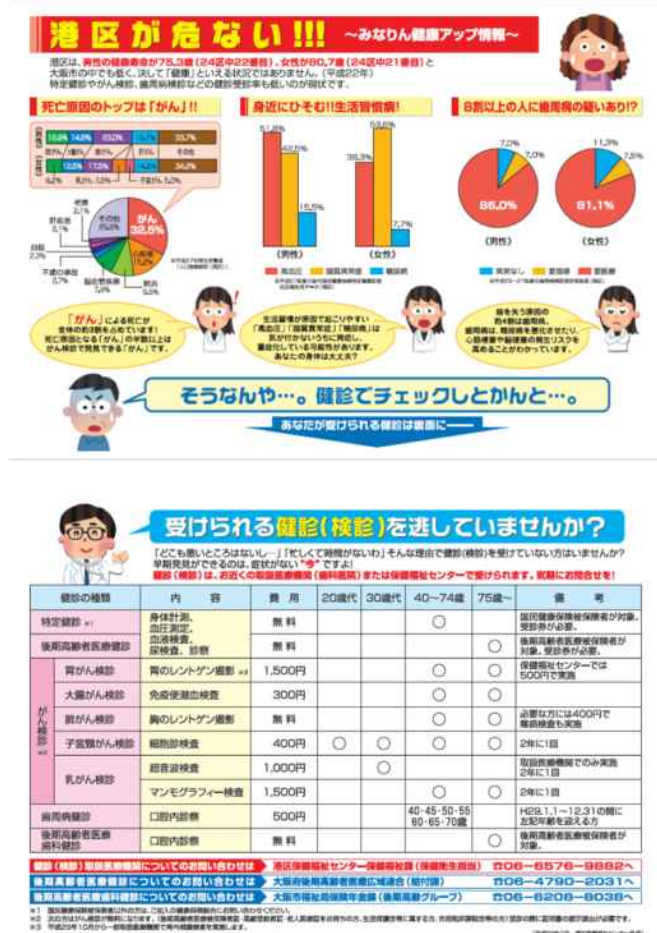
【受診券についての問合せ】大坂市国民健康保険加入者(40歳から74歳)港区役所窓口サービス課(保健) ☎6576-9956

後期高齢者医療制度加入者(75歳以上)大坂市国民健康保険加入者 ☎4790-2031

【費用・内訳についての問合せ】港区保健福祉センター保健福祉課(保健衛生) ☎6576-9882 86572-9514

目標未達成の原因分析

- 平成29年10月から取り扱い医療機関において『胃内視鏡検査』によるがん検診の受診が可能となった
- 以降、胃がん検診の申し込みがあった際に胃内視鏡検査の情報を提供した結果、医療機関での胃内視鏡検査の希望者が多数あり、減少傾向は変わらなかった。
- また、大腸がん検診も受診できる医療機関が区内に多く存在しており、近医で受診されていると考えられる。



がん検診と特定健診の受診率の資料

平成29年度		大阪市	港区	
がん 検診 受診率	胃がん	3.4%	3.7%	6番目
	大腸がん	7.8%	7.3%	13番目
	肺がん	6.2%	5.9%	9番目
	子宮頸がん	15.2%	12.8%	17番目
	乳がん	12.7%	11.1%	18番目
特定健康診査受診率		22.6%	20.5%	20番目

戦略その5 子育て世代の応援

【めざす状態】

安心して子育てできる環境づくりが進んでいる。

【令和元年度の目標（アウトカム）】

・「子育てしやすい」と答えた、子どもを持つ20代～30代の区民の割合を72%以上にする（参考：26年度 40.3%）

〈状況〉 ②⑥40.3% ⇒ ②⑧43.5% ⇒ ②⑨51.4% ⇒ ③⑩ 57.7%

・待機児童の数を0人にする（参考：27年度 2人）

〈状況〉 ②⑦2人 ⇒ ②⑧0人 ⇒ ②⑨3人 ⇒ ③⑩ 5人

戦略その5 子育て世代の応援

具体的取組

- | | |
|------------------|-------|
| ①保育所待機児童への対応 | 目標未達成 |
| ②子育て支援情報の提供 | 目標達成 |
| ③子育て相談機関による支援の充実 | 目標達成 |

戦略その5 子育て世代の応援

①保育所待機児童への対応

低年齢児の保育所入所枠を確保するため「小規模保育事業」を実施、事業者を公募

【平成30年度の目標】

開設された保育施設等：1か所以上 ⇒ 0カ所

【令和元年度の目標】

変更なし

戦略その5 子育て世代の応援

②子育て支援情報の提供



- ・支援機関とも連携し、情報を的確・積極的に提供
区広報紙の特集号の作成、配布 1回
「楽育子育てマップ」の作成 6,000部
- ・乳幼児健診時(月3回)の子育て関連情報の提供及び相談

【平成30年度の目標】

子育て情報が役に立ったと答えた区民の割合:97%以上 ⇒ 実績97%

【令和元年度の目標】

変更なし

戦略その5 子育て世代の応援

③子育て相談機関による支援の充実

- ・支援機関による要保護児童の情報共有、相談機能や対応力向上

4者会議12回 子育て支援連絡会 12回

- ・プラザによる講座や親子イベント、子育てサロンやサークルの支援



【平成30年度の目標】

子育て支援連絡会のメンバーに対するアンケートで「子育て支援室」が児童虐待の早期発見・防止のために相談と連携の機能を果たしていると答えた人の割合：80%以上 ⇒ 実績93%

【令和元年度の目標】

変更なし